

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17115
課題名	急性鉄中毒剖検例の症例報告
研究期間	倫理委員会承認日～平成 31 年 3 月 31 日
研究の対象	旭川医科大学において急性鉄中毒による意識障害および肝不全に対する治療が行われたが、治療に反応せず死亡し、病理解剖が行われた患者（1 例）。
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：検査データ、画像診断） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（病理解剖で採取された臓器から作製した病理組織標本 等）
研究の意義、目的	クエン酸第一鉄は鉄欠乏性貧血患者などの鉄の補充のために広く処方されていますが、大量に服用した場合の副作用については医師の間でも十分に認識されていません。私たちはクエン酸第一鉄の過剰摂取により生じた重症の肝傷害の病理解剖（剖検）例を経験し、報告書（最終剖検診断）を提出しています。鉄による細胞傷害は、二価鉄が触媒するフェントン反応で産生されるヒドロキシルラジカル（活性酸素、フリーラジカルの一種）によるものとされていますが、肝細胞がなぜ傷害され、死に至るのかについては不明の点が多く残されています。本研究は、急性鉄中毒による肝胞傷害の病理学的特徴を英文論文として公表することを目的として行います。私たちがこの貴重な解剖例により経験し、得たことを世界中で読まれる形で記録に残すことは医学的に重要であると考えられます。
研究の方法	旭川医科大学病院で剖検した症例の診断に用いた既存染色標本を用い、論文付図用の顕微鏡写真を撮影します。また、剖検時の肉眼写真および臨床経過のデータを論文の付図に用います。論文においては完全に匿名化した情報およびデータのみ使用いたします。
その他	なし
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、病理標本・情報が当該研究に用いられることについて患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも代理人の方に不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1 旭川医科大学病理学講座腫瘍病理分野 西川祐司 電話 0166-68-2372 ファックス 0166-68-2379 研究責任者：旭川医科大学病理学講座腫瘍病理分野 西川祐司